

授業概要（シラバス）

＜作業療法学科 4 学年＞

2025年度

学校法人 君津あすなろ学園
千葉医療福祉専門学校

2025年度 作業療法学科 開講科目一覧

1 学年

分野	科目名	開講期	単位	時間
基礎分野	心理学	通年	2	60
	情報コミュニケーション学Ⅰ	前期	1	30
	情報コミュニケーション学Ⅱ	後期	1	30
	情報コミュニケーション学Ⅲ	前期	1	15
	基礎数理学	通年	2	30
	健康と身体	通年	1	30
	社会福祉概論	後期	1	30
	医学用語	通年	1	30
	公衆衛生学	後期	1	15
	総合演習Ⅰ	通年	1	30
専門基礎分野	人体の構造Ⅰ	前期	1	30
	人体の構造Ⅱ	後期	1	30
	人体の構造Ⅲ	前期	1	30
	人体の構造Ⅳ	後期	1	30
	人体の機能Ⅰ	前期	1	30
	人体の機能Ⅱ	後期	1	30
	運動学Ⅰ	後期	1	30
	リハビリテーション医学Ⅰ	後期	2	30
	病理学	後期	1	15
	救急救命法	通年	1	30
	リハビリテーション概論Ⅰ	通年	2	60
専門分野	作業療法概論	通年	2	60
	基礎作業学	通年	2	60
	地域リハビリテーション	後期	1	15
	職業リハビリテーション	通年	1	15
	見学実習	通年	1	45
26科目			32	単位

2 学年

分野	科目名	開講期	単位	時間
基礎分野	人間発達学	前期	1	30
	総合演習Ⅱ	通年	1	30
専門基礎分野	人体の構造実習	通年	1	30
	人体の機能実習	前期	1	30
	運動学Ⅱ	前期	1	30
	運動学Ⅲ	後期	1	30
	運動学実習	後期	1	30
	運動生理学	前期	1	15
	リハビリテーション医学Ⅱ	後期	1	15
	内科学	通年	2	60
	運動器病態学	通年	2	60
	臨床神経学	前期	2	60
	精神医学	通年	2	60
	臨床心理学	前期	1	30
	リハビリテーション概論Ⅱ	通年	2	60
専門分野	作業療法評価学Ⅰ	前期	1	30
	作業療法評価学Ⅱ	後期	1	30
	作業療法評価学Ⅲ	後期	1	30
	作業療法評価学Ⅳ	前期	1	15
	作業療法評価学実習Ⅰ	前期	1	30
	作業療法評価学実習Ⅱ	後期	1	30
	作業療法評価学実習Ⅲ	後期	1	30
	発達領域作業療法学Ⅰ	前期	1	20
	日常生活関連活動学	通年	3	60
	生活支援環境学	後期	1	15
	地域リハビリテーション実習	後期	1	45
その他	地域リハビリテーション実習演習	後期	1	15
27科目			34	単位

3 学年

分野	科目名	開講期	単位	時間
基礎分野	総合演習Ⅲ	通年	1	30
専門基礎分野	リハビリテーション医学Ⅲ	通年	2	30
専門分野	作業分析	通年	2	60
	作業療法研究法	後期	1	15
	作業療法管理学	前期	2	30
	発達領域作業療法学Ⅱ	通年	2	40
	整形疾患作業療法学	通年	3	60
	精神疾患作業療法学	通年	3	60
	老年期疾患作業療法学	通年	3	60
	中枢神経疾患作業療法学	通年	3	60
	作業療法技術論	通年	1	30
	義肢装具学	後期	2	30
その他	地域作業療法学	通年	2	30
	臨床評価実習	通年	9	360
	臨床評価実習演習Ⅰ	通年	1	30
その他	臨床評価実習演習Ⅱ	通年	1	30
16科目			38	単位

4 学年

分野	科目名	開講期	単位	時間
専門分野	臨床総合実習	前期	17	680
その他	臨床総合実習演習	通年	1	30
	総合演習Ⅳ	通年	5	175
	卒業研究	通年	2	60
4科目			25	単位

OT4年		前期	講義概要	一般目標
専門分野			臨床現場において、実習指導者の指導のもとに個別に学習を行う。 臨床実習:320時間×2=640時間 OSCE他:1.5時間×27コマ=40.5時間	臨床実習指導者の指導・監督のもとで典型的な障害特性を呈する患者に対して作業療法士としての ①倫理観や基本的態度を身につける ②許容される臨床技能を実践できる ③臨床実習指導者の作業療法の思考過程を説明し、作業療法の計画立案ができること
臨床総合実習				
17単位		680時間		
作業療法学科:金谷優志, 他OT学科教員				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
	臨床総合実習Ⅰ(臨床実習)		臨床総合実習Ⅰ期 8週間 40時間×8=320時間	
	臨床総合実習Ⅱ(臨床実習)		臨床総合実習Ⅱ期 8週間 40時間×8=320時間	
1	実習課題確認等①		臨床総合実習Ⅰ 実習課題点検、実習地お礼状作成	
2	実習課題確認等②		臨床総合実習Ⅰ 実習課題点検、実習地お礼状作成	
3	実習課題確認等③		臨床総合実習Ⅱ 実習課題点検、実習地お礼状作成	
4	実習課題確認等④		臨床総合実習Ⅱ 実習課題点検、実習地お礼状作成	
5	実習前課題確認		臨床総合実習Ⅱ 実習前オリエンテーション	
6	実習後教員面談① 総合実習Ⅰ		実習の振り返りを教員と行う	
7	実習後教員面談① 総合実習Ⅰ		実習の振り返りを教員と行う	
8	実習報告会資料作成①		実習体験報告会資料(PPT、MTDLP)作成(教員指導を受けつつ)	
9	実習報告会資料作成②		実習体験報告会資料(PPT、MTDLP)作成(教員指導を受けつつ)	
10	実習報告会資料作成③		実習体験報告会資料(PPT、MTDLP)作成(教員指導を受けつつ)	
11	実習報告会資料作成④		実習体験報告会資料(PPT、MTDLP)作成(教員指導を受けつつ)	
12	実習報告会資料作成⑤		実習体験報告会資料(PPT、MTDLP)作成(教員指導を受けつつ)	
13	実習報告会資料作成⑤		実習体験報告会資料(PPT、MTDLP)作成(教員指導を受けつつ)	
教科書・参考書・資料				
判定基準／割合			履修上の留意点	
平常点:100点 出席(日数の3/4以上), 基本的態度 提出物内容・実習遂行状況 実習要項等による総合判定				

OT4年		前期	講義概要	一般目標
専門分野			臨床現場において、実習指導者の指導のもとに個別に学習を行う。 臨床実習:320時間×2=640時間 OSCE他:1.5時間×27コマ=40.5時間	臨床実習指導者の指導・監督のもとで典型的な障害特性を呈する患者に対して作業療法士としての ①倫理観や基本的態度を身につける ②許容される臨床技能を実践できる ③臨床実習指導者の作業療法の思考過程を説明し、作業療法の計画立案ができること
臨床総合実習				
17単位 680時間				
作業療法学科:金谷優志, 他OT学科教員				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
14	OSCEⅢ オリエンテーション		OSCEⅢのオリエンテーション、患者情報共有	
15	OSCEⅢ 患者情報～評価計画立案		患者情報から評価計画を立案する	
16	OSCEⅢ 評価結果～OTプログラム立案		評価結果よりOTプログラム立案する	
17	OSCEⅢ 練習①		OSCEⅢ 練習	
18	OSCEⅢ 練習②		OSCEⅢ 練習	
19	OSCEⅢ 練習③		OSCEⅢ 練習	
20	OSCEⅢ 実施①		OSCEⅢ 実施 即時FB 記録	
21	OSCEⅢ 実施②		OSCEⅢ 実施 即時FB 記録	
22	OSCEⅢ 実施③		OSCEⅢ 実施 即時FB 記録	
23	OSCEⅢ 実施④		OSCEⅢ 実施 即時FB 記録	
24	OSCEⅢ FB 振り返り		OSCEⅢ FB 振り返り	
25	OSCEⅡ 模擬患者練習		OSCEⅡ模擬患者練習	
26	OSCEⅡ 模擬患者		OSCEⅡ模擬患者として参加し、疾患・障害の理解を深める 後輩に助言する	
27	OSCEⅡ 模擬患者		OSCEⅡ模擬患者として参加し、疾患・障害の理解を深める 後輩に助言する	
教科書・参考書・資料				
判定基準／割合			履修上の留意点	
平常点:100点 出席(日数の3/4以上), 基本的態度 提出物内容・実習遂行状況 実習要項等による総合判定				

OT4年		通年	講義概要	一般目標
その他			実習過程を経て完成させた症例報告書の発表とディスカッションを実施。 実習経験を振り返り、実践を再考し、成果を共有する。	①臨床実習の場で学んだことを、症例を通じて伝えることができる。 ②コミュニケーション能力や、経験を共有する力を培う。
臨床総合実習演習				
(※ 実習後セミナー)				
I 単位	30時間			
作業療法学科：金谷優志				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
1	総合実習Ⅰ 実習後ホームルーム ①			
2	総合実習Ⅰ 実習後ホームルーム ②			
3	実習報告会 総合実習Ⅰ		実習体験報告 PPT MTDLP 質疑応答 ディスカッション	
4	実習報告会 総合実習Ⅰ		実習体験報告 PPT MTDLP 質疑応答 ディスカッション	
5	実習報告会 総合実習Ⅰ		実習体験報告 PPT MTDLP 質疑応答 ディスカッション	
6	実習報告会 総合実習Ⅰ		実習体験報告 PPT MTDLP 質疑応答 ディスカッション	
7	実習報告会 総合実習Ⅰ		実習体験報告 PPT MTDLP 質疑応答 ディスカッション	
8	実習報告会 総合実習Ⅱ		実習体験報告 PPT MTDLP 質疑応答 ディスカッション	
9	実習報告会 総合実習Ⅱ		実習体験報告 PPT MTDLP 質疑応答 ディスカッション	
10	実習報告会 総合実習Ⅱ		実習体験報告 PPT MTDLP 質疑応答 ディスカッション	
11	実習報告会 総合実習Ⅱ		実習体験報告 PPT MTDLP 質疑応答 ディスカッション	
12	実習報告会 総合実習Ⅱ		実習体験報告 PPT MTDLP 質疑応答 ディスカッション	
13	実習報告会 総合実習Ⅱ		実習体験報告 PPT MTDLP 質疑応答 ディスカッション	
14	実習報告会 総合実習Ⅱ		実習体験報告 PPT MTDLP 質疑応答 ディスカッション	
15	実習報告会 まとめ		実習体験報告 まとめ総括	
教科書・参考書・資料				
判定基準／割合			履修上の留意点	
平常点：100点 実習報告の発表内容を評定する			欠席せずに出席するようにしてください。	

OT4年 通年		講義概要	一般目標
その他		作業療法国家試験において日々の勉強の成果を模擬試験で確認する。	設定目標に対して学習を進めることができるようになる。 設定した目標が達成されたら次の目標を立て、取り組みを改善できる。 定めた目標が達成されなかった場合は原因を分析し改善取り組みを実施できる。
総合演習Ⅳ (※ 国家試験対策)			
5単位	150時間 88回		
作業療法学科:兼子健一 作業療法学科教員			
回	項目	この講義で学ぶこと・行動目標	
1	国試対策 オリエンテーションⅠ	9月上旬 国試対策の進め方などについて説明	
2	国試対策 オリエンテーションⅡ	10月上旬 国試対策の進捗確認と修正	
3	国試対策 オリエンテーションⅢ	11月上旬 国試対策の進捗確認と修正	
4	国試対策 オリエンテーションⅣ	12月上旬 国試対策の進捗確認と修正	
5	国試対策 基礎・弱点強化【兼子】	常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
6	国試対策 基礎・弱点強化【兼子】	常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
7	国試対策 基礎・弱点強化【兼子】	常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
8	国試対策 基礎・弱点強化【兼子】	常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
9	国試対策 基礎・弱点強化【兼子】	常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
10	国試対策 基礎・弱点強化【兼子】	常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
11	国試対策 基礎・弱点強化【兼子】	常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
12	国試対策 基礎・弱点強化【武井】	常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
13	国試対策 基礎・弱点強化【武井】	常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
14	国試対策 基礎・弱点強化【武井】	常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
15	国試対策 基礎・弱点強化【武井】	常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
教科書・参考書・資料			
・クエスチョンバンク2024共通問題 ・クエスチョンバンク2024専門問題 その他			
判定基準／割合		履修上の留意点	
卒業判定:卒業試験Ⅰ、卒業試験Ⅱ 合格基準:上位90%以内 2回の試験で1回以上 上位90%以内であること		★ 翌日には74%を忘れてしまう～エビングハウスの忘却曲線 ⇒「復習」は重要 ★ 繰り返し入ってくる情報を長期記憶化する⇒反復学習 ★ 脳は入力よりも出力を重視する「よく使う情報だから重要」⇒「アウトプット重視」 ★ 「やる気」は行動することによって生じる ⇒とりあえずやってみる!!	

OT4年		通年	講義概要	一般目標
その他			作業療法国家試験において日々の勉強の成果を模擬試験で確認する。	設定目標に対して学習を進めることができるようになる。 設定した目標が達成されたら次の目標を立て、取り組みを改善できる。 せってした目標が達成されなかった場合は原因を分析し改善取り組みをを実施できる。
総合演習Ⅳ (※ 国家試験対策)				
5単位	150時間 88回			
作業療法学科:兼子健一 作業療法学科教員				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
16	国試対策 基礎・弱点強化【武井】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
17	国試対策 基礎・弱点強化【武井】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
18	国試対策 基礎・弱点強化【武井】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
19	国試対策 基礎・弱点強化【金谷】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
20	国試対策 基礎・弱点強化【金谷】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
21	国試対策 基礎・弱点強化【金谷】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
22	国試対策 基礎・弱点強化【金谷】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
23	国試対策 基礎・弱点強化【金谷】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
24	国試対策 基礎・弱点強化【金谷】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
25	国試対策 基礎・弱点強化【金谷】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
26	国試対策 基礎・弱点強化【早川】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
27	国試対策 基礎・弱点強化【早川】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
28	国試対策 基礎・弱点強化【早川】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
29	国試対策 基礎・弱点強化【早川】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
30	国試対策 基礎・弱点強化【早川】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
教科書・参考書・資料				
・クエスチョンバンク2024共通問題 ・クエスチョンバンク2024専門問題 その他				
判定基準／割合			履修上の留意点	
卒業判定:卒業試験Ⅰ、卒業試験Ⅱ 合格基準:上位90%以内 2回の試験で1回以上 上位90%以内であること			★ 翌日には74%を忘れてしまう～エビングハウスの忘却曲線 ➡「復習」は重要 ★ 繰り返し入ってくる情報を長期記憶化する➡反復学習 ★ 脳は入力よりも出力を重視する「よく使う情報だから重要」➡"アウトプット重視" ★ 「やる気」は行動することによって生じる ➡とりあえずやってみる!!	

OT4年		通年	講義概要	一般目標
その他			作業療法国家試験にむけて日々の勉強の成果を模擬試験で確認する。	設定目標に対して学習を進めることができるようになる。 設定した目標が達成されたら次の目標を立て、取り組みを改善できる。 せってした目標が達成されなかった場合は原因を分析し改善取り組みをを実施できる。
総合演習Ⅳ (※ 国家試験対策)				
5単位 150時間 88回				
作業療法学科: 兼子健一 作業療法学科教員				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
31	国試対策 基礎・弱点強化【早川】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
32	国試対策 基礎・弱点強化【早川】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
33	国試対策 基礎・弱点強化【原】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
34	国試対策 基礎・弱点強化【原】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
35	国試対策 基礎・弱点強化【原】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
36	国試対策 基礎・弱点強化【原】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
37	国試対策 基礎・弱点強化【原】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
38	国試対策 基礎・弱点強化【原】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
39	国試対策 基礎・弱点強化【原】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
40	国試対策 基礎・弱点強化【隈部】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
41	国試対策 基礎・弱点強化【隈部】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
42	国試対策 基礎・弱点強化【隈部】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
43	国試対策 基礎・弱点強化【隈部】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
44	国試対策 基礎・弱点強化【隈部】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
45	国試対策 基礎・弱点強化【隈部】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
教科書・参考書・資料				
・クエスチョンバンク2024共通問題 ・クエスチョンバンク2024専門問題 その他				
判定基準／割合			履修上の留意点	
卒業判定: 卒業試験Ⅰ、卒業試験Ⅱ 合格基準: 上位90%以内 2回の試験で1回以上 上位90%以内であること			★ 翌日には74%を忘れてしまう～エビングハウスの忘却曲線 ➡「復習」は重要 ★ 繰り返し入ってくる情報を長期記憶化する➡反復学習 ★ 脳は入力よりも出力を重視する「よく使う情報だから重要」➡”アウトプット重視” ★ 「やる気」は行動することによって生じる ➡とりあえずやってみる!!	

OT4年		通年	講義概要	一般目標
その他			作業療法国家試験にむけて日々の勉強の成果を模擬試験で確認する。	設定目標に対して学習を進めることができるようになる。 設定した目標が達成されたら次の目標を立て、取り組みを改善できる。 せってした目標が達成されなかった場合は原因を分析し改善取り組みをを実施できる。
総合演習Ⅳ (※ 国家試験対策)				
5単位	150時間 88回			
作業療法学科:兼子健一 作業療法学科教員				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
46	国試対策 基礎・弱点強化【限部】		常勤教員による学生の基礎・弱点強化介入	
47	校内模試Ⅰ①		6月上旬 実習明け実力チェック 100問 目安56点以上(40%以上)	
48	校内模試Ⅰ②		6月上旬 実習明け実力チェック 100問 目安56点以上(40%以上)	
49	校内模試Ⅱ①		9月上旬 校内模試 200問 国試過去問レベル 目安=168点	
50	校内模試Ⅱ②		9月上旬 校内模試 200問 国試過去問レベル 目安=168点	
51	校内模試Ⅱ③		9月上旬 校内模試 200問 国試過去問レベル 目安=168点	
52	校内模試Ⅱ④		9月上旬 校内模試 200問 国試過去問レベル 目安=168点	
53	校内模試Ⅱ⑤		校内模試 振返り	
54	校内模試Ⅲ①		9月下旬 校内模試 200問 国試過去問レベル 目安=180点	
55	校内模試Ⅲ②		9月下旬 校内模試 200問 国試過去問レベル 目安=180点	
56	校内模試Ⅲ③		9月下旬 校内模試 200問 国試過去問レベル 目安=180点	
57	校内模試Ⅲ④		9月下旬 校内模試 200問 国試過去問レベル 目安=180点	
58	校内模試Ⅲ⑤		校内模試 振返り	
59	校内模試Ⅳ①		10月上旬 校内模試 200問 国試過去問レベル 目安=180点	
60	校内模試Ⅳ②		10月上旬 校内模試 200問 国試過去問レベル 目安=180点	
教科書・参考書・資料				
・クエスチョンバンク2024共通問題 ・クエスチョンバンク2024専門問題 その他				
判定基準／割合			履修上の留意点	
卒業判定:卒業試験Ⅰ、卒業試験Ⅱ 合格基準:上位90%以内 2回の試験で1回以上 上位90%以内であること			★ 翌日には74%を忘れてしまう～エビングハウスの忘却曲線 ➡「復習」は重要 ★ 繰り返し入ってくる情報を長期記憶化する➡反復学習 ★ 脳は入力よりも出力を重視する「よく使う情報だから重要」➡「アウトプット重視」 ★ 「やる気」は行動することによって生じる ➡とりあえずやってみる!!	

OT4年		通年	講義概要	一般目標
その他			作業療法国家試験にむけて日々の勉強の成果を模擬試験で確認する。	設定目標に対して学習を進めることができるようになる。 設定した目標が達成されたら次の目標を立て、取り組みを改善できる。 せってした目標が達成されなかった場合は原因を分析し改善取り組みをを実施できる。
総合演習Ⅳ (※ 国家試験対策)				
5単位	150時間 88回			
作業療法学科:兼子健一 作業療法学科教員				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
61	校内模試Ⅳ③		10月上旬 校内模試 200問 国試過去問レベル 目安=180点	
62	校内模試Ⅳ④		10月上旬 校内模試 200問 国試過去問レベル 目安=180点	
63	校内模試Ⅳ⑤		校内模試 振返り	
64	校内模試Ⅴ①		10月下旬 校内模試 200問 国試過去問レベル 目安=200点	
65	校内模試Ⅴ②		10月下旬 校内模試 200問 国試過去問レベル 目安=200点	
66	校内模試Ⅴ③		10月下旬 校内模試 200問 国試過去問レベル 目安=200点	
67	校内模試Ⅴ④		10月下旬 校内模試 200問 国試過去問レベル 目安=200点	
68	校内模試Ⅴ⑤		校内模試 振返り	
69	校内模試Ⅵ①		11月上旬 ライセンス契約模試 200問 目安=平均点+10~20点	
70	校内模試Ⅵ②		11月上旬 ライセンス契約模試 200問 目安=平均点+10~20点	
71	校内模試Ⅵ③		11月上旬 ライセンス契約模試 200問 目安=平均点+10~20点	
72	校内模試Ⅵ④		11月上旬 ライセンス契約模試 200問 目安=平均点+10~20点	
73	校内模試Ⅵ⑤		校内模試 振返り	
74	業者模試①		11月中旬 医歯薬① 200問 目安=偏差値55以上	
75	業者模試②		11月中旬 医歯薬① 200問 目安=偏差値55以上	
教科書・参考書・資料				
・クエスチョンバンク2024共通問題 ・クエスチョンバンク2024専門問題 その他				
判定基準／割合			履修上の留意点	
卒業判定:卒業試験Ⅰ、卒業試験Ⅱ 合格基準:上位90%以内 2回の試験で1回以上 上位90%以内であること			★ 翌日には74%を忘れてしまう～エビングハウスの忘却曲線 ➡「復習」は重要 ★ 繰り返し入ってくる情報を長期記憶化する➡反復学習 ★ 脳は入力よりも出力を重視する「よく使う情報だから重要」➡"アウトプット重視" ★ 「やる気」は行動することによって生じる ➡とりあえずやってみる!!	

OT4年 通年		講義概要	一般目標
その他		作業療法国家試験にむけて日々の勉強の成果を模擬試験で確認する。	設定目標に対して学習を進めることができるようになる。 設定した目標が達成されたら次の目標を立て、取り組みを改善できる。 せってした目標が達成されなかった場合は原因を分析し改善取り組みをを実施できる。
総合演習Ⅳ (※ 国家試験対策)			
5単位	150時間 88回		
作業療法学科:兼子健一 作業療法学科教員			
回	項目	この講義で学ぶこと・行動目標	
76	業者模試③	11月中旬 医歯薬① 200問 目安=偏差値55以上	
77	業者模試④	11月中旬 医歯薬① 200問 目安=偏差値55以上	
78	業者模試⑤	11月中旬 医歯薬① 振返り	
79	卒業試験Ⅰ ①	11月下旬 卒業試験Ⅰ 200問 基準 偏差値37以上 上位90%以内 目安=偏差値55以上 上位30%以内	
80	卒業試験Ⅰ ②	11月下旬 卒業試験Ⅰ 200問 基準 偏差値37以上 上位90%以内 目安=偏差値55以上 上位30%以内	
81	卒業試験Ⅰ ③	11月下旬 卒業試験Ⅰ 200問 基準 偏差値37以上 上位90%以内 目安=偏差値55以上 上位30%以内	
82	卒業試験Ⅰ ④	11月下旬 卒業試験Ⅰ 200問 基準 偏差値37以上 上位90%以内 目安=偏差値55以上 上位30%以内	
83	卒業試験Ⅰ ⑤	11月下旬 卒業試験Ⅰ 200問 振返り	
84	卒業試験Ⅱ ①	12月1日 卒業試験Ⅱ 200問 基準 偏差値37以上 上位90%以内 目安=偏差値55以上 上位30%以内	
85	卒業試験Ⅱ ②	12月1日 卒業試験Ⅱ 200問 基準 偏差値37以上 上位90%以内 目安=偏差値55以上 上位30%以内	
86	卒業試験Ⅱ ③	12月1日 卒業試験Ⅱ 200問 基準 偏差値37以上 上位90%以内 目安=偏差値55以上 上位30%以内	
87	卒業試験Ⅱ ④	12月1日 卒業試験Ⅱ 200問 基準 偏差値37以上 上位90%以内 目安=偏差値55以上 上位30%以内	
88	卒業試験Ⅱ ⑤	12月1日 卒業試験Ⅱ 200問 振返り	
教科書・参考書・資料			
・クエスチョンバンク2024共通問題 ・クエスチョンバンク2024専門問題 その他			
判定基準／割合		履修上の留意点	
卒業判定:卒業試験Ⅰ、卒業試験Ⅱ 合格基準:上位90%以内 2回の試験で1回以上 上位90%以内であること		★ 翌日には74%を忘れてしまう～エビングハウスの忘却曲線 ➡「復習」は重要 ★ 繰り返し入ってくる情報を長期記憶化する➡反復学習 ★ 脳は入力よりも出力を重視する「よく使う情報だから重要」➡”アウトプット重視” ★ 「やる気」は行動することによって生じる ➡とりあえずやってみる!!	

OT4年		通年	講義概要	一般目標
その他		卒業研究 (※選択科目)	卒業研究を行い、論文を作成する。	3年次に身に付けた研究法の知識を活用し、研究方法を修得する。
卒業研究				
2単位				
60時間				
作業療法学科教員				
回	項目		この講義で学ぶこと・行動目標	
1	学生からの相談受付		1～5回 研究テーマを教員と相談し、方向性を確認する。	
2	研究テーマの仮決定		5～6回 研究テーマを仮決定し、計画書の作成を行う。	
3	担当教員の決定		7～10回 研究テーマに沿った教員に依頼、計画書の確認を行う。	
4	卒業研究開始		10～25回 文献収集、研究を開始する。	
5	卒業研究論文提出および発表会		25～30回 各学生が研究内容を発表する。	
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
教科書・参考書・資料				
臨床実習とケーススタディ 市川和子編 医学書院				
判定基準／割合		履修上の留意点		
研究発表、研究内容にて判定する。		3年次に修得した研究法の知識をしっかりと復習し、卒後研究に励んでください。		